

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	都市開発部	計画開発課	内線等	1302
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	都市計画基本図作成・縦覧・販売事業				
根拠法令等	都市計画法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け
基本目標

	施策名
その他	その他

事務事業の内容

対象	市民及び建築、不動産関係の業者に
手段	都市計画図の縦覧及び販売をすることにより
想定する成果	都市計画事業の周知を行うことで事業の円滑化を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業内容	都市計画基本図作成 55,878,000円	都市計画図印刷製本費 1,566,000円	都市計画図印刷製本費 1,600,000円
都市計画図販売	1,957枚	1,703枚	1,800枚
販売収入	242,000円	209,000円	300,000円

成果指標

成果指標名	都市計画図販売枚数
成果指標の説明	都市計画図販売枚数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	1,800枚
	実績	1,957枚	1,703枚	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	55,878	1,566	1,600
	人件費	24,656	17,352	17,686
	(人数)	2.95	2.1	2.1
	合計	80,534	18,918	19,286
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	242	209	300
	一般財源	80,292	18,709	18,986

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	都市計画図の縦覧及び販売に関しては、市民の要望に対し概ね答えられている。
経済効率性	2	2	都市計画図の印刷に関しコストダウンの方法を検討していく。
事務効率性	2	2	以前、都市計画図の一部を民間に委託していたが、販売単価が高価となり苦情が出たため直営にした経緯がある。
必要性	3	3	都市計画法で定められた事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	1	都市計画図の縦覧及び販売の対象は市民及び建築、不動産関係の業者を対象に行っており、その際に要望があれば聞いている。
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	都市計画基本図の作成時期については、5年を目途に行ってきたが、市の財政事情から伸びる傾向にある。縦覧及び販売については現行の方法で問題もないのでこのままとする。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

今まで販売していた都市計画図のうち、縮尺1/10,000の地図が市全体が3枚の図面となっており取扱が不便であったが、平成14年度に縮尺を1/15,000に変更し1枚の図面とし平成15年度から販売することとした。

今後改善すべき点

今回行った縮尺の変更(1/20,000を1/15,000)により1枚の図面が大きくなり、販売価格も高くなってしまった。今後、印刷する時点で印刷費用の引き下げを行い販売価格に反映したい。
--

平成16年度予算に反映する項目

販売価格を引き下げるための印刷費用の引き下げをした価格で予算要求していきたい。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	都市開発部	計画開発課	内線等	1302
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	公的サイン整備事業		
根拠法令等	F - P O L I S 計画	A 法令	B 条例	C 規則	D その他
					E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

人と自然が共生する潤いあるまちづくり	都市景観
--------------------	------

事務事業の内容

対象	歩行者及び車両に対し
手段	公的サイン（統一したデザインの標識）を設置することにより
想定する成果	市民の都市景観に対する意識の高揚と公共施設への案内を円滑に行う。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業内容	標識板修正 7基 1,470,000円	車両系標識板設置 1基 6,825,000円	車両系標識板設置 1基 標識板修正 3基 7,100,000円

成果指標

成果指標名	公的サイン設置率
成果指標の説明	設置済数 / 計画総設置数 × 100

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	16.3%
	実績	15.7%	16.0%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	1,470	6,825	7,100
	人件費	6,686	6,610	6,737
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	8,156	13,435	13,837
財源内訳	国			
	県			
	市債		5,100	
	その他			
	一般財源	8,156	8,335	13,837

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	公的サインの全体計画から見ると事業の達成度はかなり低い値となっている。この原因は1基当りの設置費が特別注文のため高価である事が原因である。
経済効率性	1	2	都市景観を考慮した標識であり一般の標識と比べて高価となるが、費用対効果をどう考えるかは難しい問題である。価格を下げるための努力は毎年行っており、少しづつではあるが下がっている。
事務効率性	2	2	限られた人員をより効率よく投入する事により成果をあげている。
必要性	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	7 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	1	事業の計画段階では市民の参加はなかったが、利用者は市民及び市外の人達である。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	案内標識の設置については市民及び市外の人に対して市として行っていくべき事業である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

公的サインは蒲郡市が都市景観に配慮した独自の標識であるため1基当りの設置費用が高価となっており、価格の引き下げをすべく材料、材質の変更を行いコストダウンに努めてきた。

今後改善すべき点

設置基数を増やすためには更なるコストダウンが必要となっており、それを行うための形状変更などを行っていく。

平成16年度予算に反映する項目

今年度より更に安い単価で予算要求していきたい。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	都市開発部	計画開発課	内線等	1302
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	西浦稲生山周辺整備事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け
基本目標

	施策名
その他	その他

事務事業の内容

対象	西浦町稲生山地区周辺に
手段	遊歩道を築造することにより
想定する成果	市民の自然へのふれあいと健康増進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業内容	路線測量及び実施設計委託業務(変更) 945,000円	用地測量委託業務 4,515,000円	不動産鑑定手数料 500,000円 用地買収費 1,400,000円 物件補償費 100,000円

成果指標

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累計事業費 / 総事業費 × 100	

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	22.8%
	実績	10.4%	19.0%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	945	4,515	2,000
	人件費	2,507	6,610	6,738
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	3,452	11,125	8,738
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,452	11,125	8,738

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ、当初の計画どおりの内容で事業が行えた。
経済効率性	1	1	費用対効果を考えると、低評価とせざるを得ない事業と考えられる。また、遊歩道が全線出来上がらなければ投資効果は現われない事業である。
事務効率性	2	2	投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	1	1	この場所に遊歩道を築造しても関係地主及び附近住民の利用は見込まれるが、一般市民がどの程度利用するのか疑問が残る。
小計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	事業計画の段階から、西浦地区全員の総代さん及び地元の市議会議員さんが参加し計画を進めて来た事業です。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	上記の評価内容から、この事業については事業の見直しが必要であると考えられる。今の時点は用地買収に入っていく段階であり、まだ見直しをしてもその影響は最小限であると思われる。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

遊歩道の用地確保のため地主説明会を開催し、地主さんの意見を取り入れた道路線形に変更した。

今後改善すべき点

現時点での市の財政事情等を考慮し、事業の見直しを行っていくべき事業であると考え、西浦地区要望に対し踏み切った事業であり、自主的な地元管理と共に、野外教育、公民館活動の場として費用対効果を求めていく。

平成16年度予算に反映する項目

事業の見直しを行いその結論の内容を予算に反映する。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載